

## 民話における女性に対する描写と偏見：日米大学生の比較研究

ケビン・グッドリッチ

ニコラス・マッカラ

カリフォルニア州立大学モントレイ

## 要旨

このキャップストーン的主要な目的は、アメリカと日本におけるそれぞれの現代社会の一般認識として女性に対する恐ろしく悪魔的な描写を含み、且つ影響力のある幾つかの民話を検討することである。この描写が生み出された時代から現代までの変化に対して、どの程度の社会に対する影響があり又どの程度の変化があるのかということを理解する為に、それぞれの民話の歴史的な背景を掘り下げ、女性に対する偏見とどの様に関係しているのかについて詳しく調べた。こうした研究は、現代社会に未だに存在している性別の差に基づいた社会的な権力構造の根源を掘り下げる事ができると言えるかもしれない。又、私達が挙げた民話の例とその民話の歴史的な背景を中心とした話し合いを教育に取り入れることで、性差別に関する話をより健全な対話として成り立たせることができるかもしれない。日米大学生は民話と性差別に対してどう認識しているのか、または教育に於いて重要な存在になり得るのか、という二つの点をより理解する為に日米大学生向けのアンケート調査を行った。アンケートの結果から、日米大学生の大半は民話と男女の役割という話題は教育の中で触れる機会が他の話題に比べると少なく、日米大学生の過半数はお互いの文化や社会を理解する為に民話をより教育に取り入れる事が有益だと思っているということが分かってきた。

## はじめに

民話というのはある文化における社会問題に対する一般認識を反映しているものだと考えられる。その様に考えたら民話の背景を詳しく勉強することで、その民話が生み出された時代の文化的、または、歴史的な背景や社会構造などと、その同じ背景や社会構造が現代の社会でどのような形で存在しているのかをより理解できるための手段として使われるとも考えられる。日米と共によく知られている民話における女性的な描写に対する一般人の認識をより正確に把握するために、私達は日米大学生の比較研究を

行うことにして、その研究から集まったデータの結果について分析した。この研究のアンケート調査の対象は様々限界で大学生に限られている。

## 1. 研究の重要性

私達は、カリフォルニア州立大学モンレーベイでも留学先の日本の大学でも日本語と日本文化に関する多くの授業を履修してきた。そして、様々な民俗について学習することで、日本の文化的背景をより明確に把握できるという事を学んだ。留学していた時、特に私達が興味を引かれたのは民話における女性に対する描写だった。そして、民話における女性の描写と、女性が現在の社会からどう見られているのか、ということには明らかな関連があると気づいた。この研究を通して、民話は教育や社会問題に対する大学生の認識にどのような影響があるのか考えてみたい。また、日米の大学生が、他国の民俗に関する知識を得ることで、その国の文化に対する誤解を和らげられると考えているかどうか、分析してみたいと思います。

## 2. 研究質問

民話の女性に対する認識の影響は日米の大学生の間でどのように異なるのか。又どのように類似しているのか。

1. 民話を外国語の授業に取り入れることは日米の大学生が持つ社会問題や教育に関する意見にどのような影響があるか。

## 3. 研究の背景

### 3.1. 民俗学における民話の定義

民話という言葉が文脈によって意味が多少変化したりして、神話や昔話や都市伝説などのジャンルを幅広く意味する場合も少なくはないである。そこで、本論文ではこれから参考にしていく「民話」という言葉の意味を明確にしたいと思う。東京外

国語大学の小田淳一によりますと「...民話と伝承，神話などはどうやって区別されているのでしょうか？ この問題はいわゆるジャンル問題と呼ばれるもので，かなり以前から多くの研究者によって論議されてきましたが...」ということである（Oda, 2006）。

これに関して、民話学者の亡きスティッス・トンプソンは「The Folktale」という本の中でジャンルで分類するよりも最初からどのような形で伝えられて普及されてきたかという点で区別を付けるべきだと主張した（Thompson, 1946）。もっと詳しく説明すると、民話は「口承によって伝えられるもの」という形から「筆記されたもの」という形になる傾向があり、さらにオリジナル性ではなく民衆の間で生み出されて語り伝えられている特徴もある（Thompson）。トンプソンが書いた文を参考にし、さらに小田が参考になっている2つの定義を考えてみると類似しているところが確実にあると分かってくる。下記にこの二つの定義を紹介していく。

定義1つ目:「民衆の間で語り伝えられている話」

定義2つ目:「民衆の間で語り伝えられている話」

つまり、神話や昔話や都市伝説などのジャンルはこの条件が満たされれば、民話として成立できると考えられる。

### 3.2. 古代の民話における女性のキャラクター

Beth Cohenによるとアテナは「女性における社会的な期待は民話に反映されている」という話の代表だと主張した。例えばアテナは、いつもゼウスの望みを守り、立場をわきまえている。また、ギリシャの女性の代表として、例えと言うと、文字通りにも最高の織り手の手本と言える。アテナはずる賢く、男性中心の社会を強化する存在として描写されている。アテナは魔女と言えるわけではないけど、魔女のように社会はアテナの

描写に影響されている、この場合でその社会はギリシャのだ。それで、この研究に関する、アテナは民話の女性対して女性における社会的な認識に影響している。

### 3.3. ババヤガの強力なイメージ

古代の民話についての話で、アテナだけではなく、世界の様々な例でババヤガと言うキャラクターが特に目立っている。Forrester、Goscilo、Skoroなどの作家によると、ババヤガは古代のキリスト教に影響されていないスラブ地域の一番有名な魔女。異教徒の様々な神の合併かもしれませんが、支配されない存在と見られている。また、母なる自然の具現化とも言える。ババヤガは気まぐれで、誰かを助けるか殺すか、適当に決める。そして、無生物も含む、様々な使い魔を飼う。

### 3.4. ババヤガの影響の広がりについて

ヘンゼルとグレーテルの魔女と言うのは、Grimm兄弟が近世のドイツで集めて作った物語に登場するとババヤガに似ているキャラクターと言えるが、この魔女は決まりで悪な存在、また意地悪と神に反対していると描写されている。また、キリスト教中心の考え方のように動物だけの使い魔を飼う。だんだんその考え方はババヤガの姿から離れてきて、キリスト教中心の考え方に近づく。だが、ババヤガのことに似ているところもある。例えばヘンゼルとグレーテルの魔女は社会の外に生きて、人、特に子供を食べる。でも、ババヤガの場合に、そのことは悪意の理由ではなくて、人を助ける場合も互角ある。ヘンゼルとグレーテルの魔女は人を助ける場合がない。

### 3.5. 近世ヨーロッパとピューリタン植民地のウィッチ

Laurel Zwisslerによると、多くの場合にキリスト教は主要な宗教となるにつれて俗信を取り込むか 禁止にするかを決めた。当時は、俗信を検討するためにキリスト教関係者に紹介しなければならなかった。その俗信が認められなかった場合は、悪魔主義

として禁止された。「主要ではないその他の俗信」と言える宗教は悪魔主義と認識され、神の世界を脅すと信じられている。そして、継時的にキリスト教の魔女に対する見方が生まれてきた。Karlsenによると、ある女性が「主要ではないその他」の集団に属し、不満があると疑われた場合は、容易に悪魔の力に頼っていると認識される場合が多く、魔女としての烙印を押された。男性が権力を持つ社会の中で、女性は民俗や俗信などの文化を通して詳細に審査された。ピューリタン社会の中で、不満を持つと言うことは「自分の社会的な立場を超えたい」という定義だ。

現代社会で、魔女のイメージは、徐々にキリスト教の見方から離れ、変化してきたと言える。しかし、まだ古い見方も存在しており、ホーカス ポーカス、ブレア・ウィッチ・プロジェクトやザ・ウィッチ、などの現代の映画でその描写が見られる。

### 3.6. 日本文化における女性的恐ろしい描写について

Raechel Dumasは「この女性的で恐ろしい描写は昔からの日本文化におけるものであり、常軌を逸した行為・性格の象徴とされ、道徳行為・社会規範を強化する役割を果たしている」と主張している。

この描写は古代の日本社会にも現代の日本社会にも常に様々な代表者が存在し、日本の歴史上の出来事や現象等から影響を受けている、とDumasは述べている。例えば、神道、仏教の経も説話も、また経済的な動向も社会構造の変化もこの描写に影響を与えたと言える。

### 3.7. 古代の仏教と女性との歴史的な関係

これからの仏教に対する考えは、一部の仏教宗派に取り入れられたもので、仏教の全ての宗派に当てはまるとは限りないである。古代の仏教に関する幾つかの説話の中

に、女性が龍に変身する設定があり、それに関して、Monika Dixは「女性は情欲の化身」として扱われていると主張している。

武見李子（たけみ・ももこ）によると「血盆経は血の穢れで血の池地獄に落ちた女性が成仏（じょうぶつ）できる事を示している（Takemi, 1983）。なぜこのような女性向けの地獄が存在しているかという仏教の教えに従わない、所謂女性劣機観という考えがあったからです。それに従って、「女性不浄観」と「女性罪業観」という2つの考えも生まれたと川内教彰（かわうち・きょうしょう）が主張しています。

さらに『平安期における女性と仏教について』という論文で工藤（くどう）美和子は五障という女性もっている「五つの障害」という考えについて書き、女は仏になれないが男は仏になれるという女性差別を意味すると考えられてきたと述べています。また、工藤はこれらの問題は現代社会に存在する男女間の差別（ジェンダー）を通して論じられていると主張しています。

### 3.8. 日本の幽霊の女性について

日本の民話のキャラクターの代表的なものは幽霊の女性です。Brenda Jordanは日本の幽霊は「様々な抑えることのできない激しい感情を抱えたまま死んだ人々は生きている者のところに戻ってくる」ものだと考えている（Jordan, 2005）。さらに、Jordanは江戸時代の様々な怪談の共通のテーマは、「嫉妬を抱いている」または、「ひどく扱われた女性」であるとも述べている（Jordan）。日本の名高い幽霊の代表者の一つを挙げると、お岩さんとお菊さんが存在しています。お菊さんが登場する「番町皿屋敷」という民話が語り伝えられた場所によって筋の詳細が多少変わってき、一般的の人に「主人が大切にしている皿一枚を過失から割ってしまった下女が、主人に責め殺され、死体は井

戸に捨てられる」という怪談話としてよく知られていると森井直子は述べている (Morii, 2008)。

### 3.9. 雪女

雪女の起源は幾つかの説がありますが、一つの発生源は室町時代の新潟県ないで (Tada, 2000)、もう一つは雪女について詳しく研究したまきの・ようこによりますと、ラフカディオ・ハーンの本に登場するキャラクターは他の描写よりも原形に最も近いと主張しています (Makino, 2013)。

キャラクターの服装は真っ白で、ハーンが記した民話の登場人物のみのきちは「たいそう美しいと思った——目は恐ろしかったが。」と描写しました。

一方、雪女は人間を殺したことがあります、人間のふりをしながら人間社会に残りたがっているという寂しさや一部の人間性を持つと考えられている (Makino)。

### 3.10. 口裂け女

雪女と同様に口裂け女の起源は幾つかの説があり、多くの研究者は岐阜県内が発生源だと考えています (Nakao, 2005)。口裂け女は大きなマスクをつけ、赤いコートを着、「耳まで裂けた口」と描写をされている妖怪で、通行人に『私美人と思うか』と尋ね、答えによって、その通行人を追いかけるか、裂けた口を見せてすぐに相手を刃物で刺すという都市伝説として知られています。

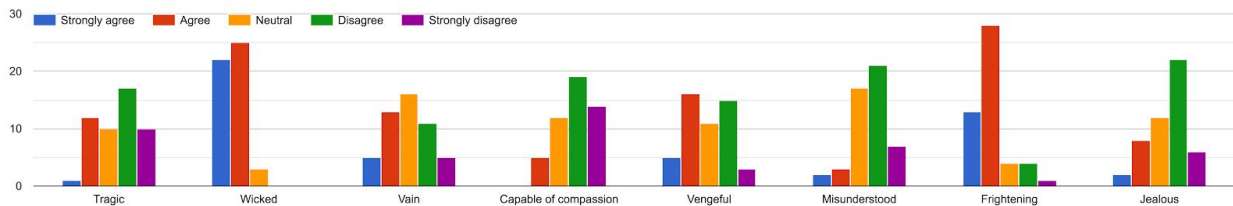
なぜ口が裂けているかについては、中尾裕子によると「...整形手術に失敗したため」という説や、2007年の口裂け女という映画の中で少女の頃、男の殺人犯に襲われたという説もあります (Nakao), (Saori et. al, 2007)。

## 4. 研究方法

- 4.1. **調査方法**：アンケート調査用紙を日本語と英語で作成し、オンラインでデータを集めた。
- 4.2. **調査の対象**：この調査には103名の大学生が参加した。日本人53名（男子14名、女子39名）、アメリカ人50名（男子21名、女子25名、言いたくない1人名、その他3名）である。
- 4.3. **アンケート調査の質問**

図1：ヘンゼルとグレーテルの魔女とはどのようなキャラクターだと思いますか？

11. What kind of character do you think the witch from the story of Hansel and Gretel is? Please mark the choice that matches with your opinion.

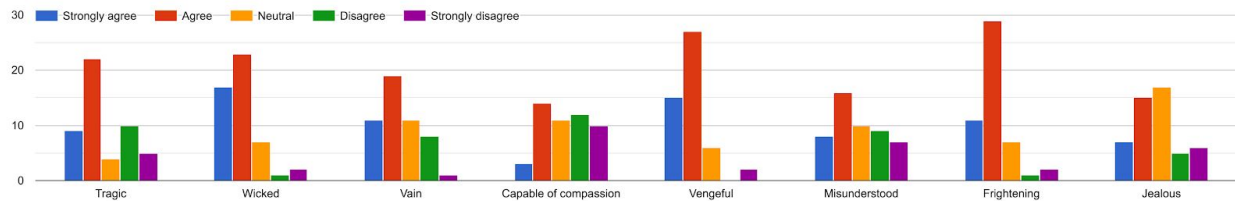


「ヘンゼルとグレーテルの魔女とはどのようなキャラクターだと思いますか？」という質問に対して、アメリカ人の回答者の大多数は「wicked」、または「恐ろしい」と答えた。さらに「可哀想」とは思わないを選んだ回答者の人数が半分以上で、「情けがある」に関しては「そう思わない」と「強くそう思わない」を選んだ回答者は60%を超えた。

図2：17世紀から現在までの魔女の全体的な描写というのはどのような者だと思いますか？



12. Which of the following do you feel best expresses the portrayal of witches since the 17th century? Please mark the choice that matches with your opinion.

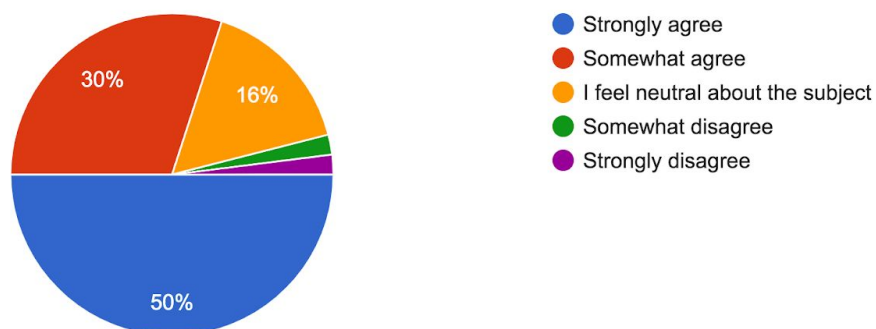


アメリカ人の回答者は17世紀から現代までの全体的な魔女の描写に対して、大多数が「魔女」の描写は「wicked」または「恐ろしい」と答えました。一方で、ヘンゼルとグレーテルの民話に登場する魔女に対する質問の答えと異なって、「可哀想」と答えた人は60%を超えました。さらに「皆から誤解されている」と思っている人はほぼ半分であった。

図3： 魔女の全体的な描写は、50年前とは異なると思いますか？

13. Do you agree with the following statement: "The portrayal of witches today is fairly different than it was 50 years ago. "

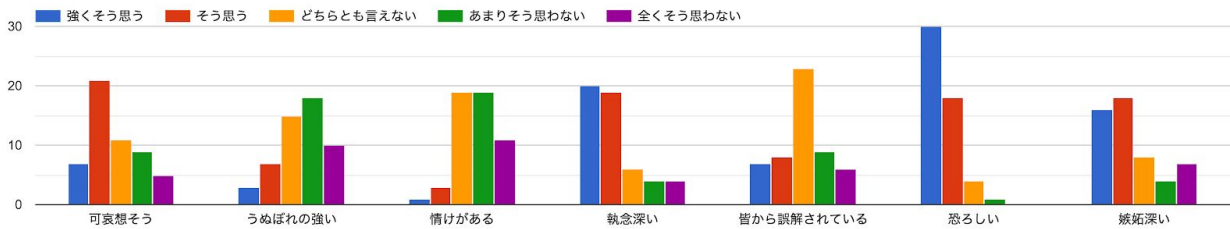
50 responses



魔女の描写は50年前とは異なると思っているアメリカ人は80%です。このグラフは前のグラフと次の二つのグラフをサポートしています。

図4：「口裂け女というのはどのようなキャラクターだと思いますか？」

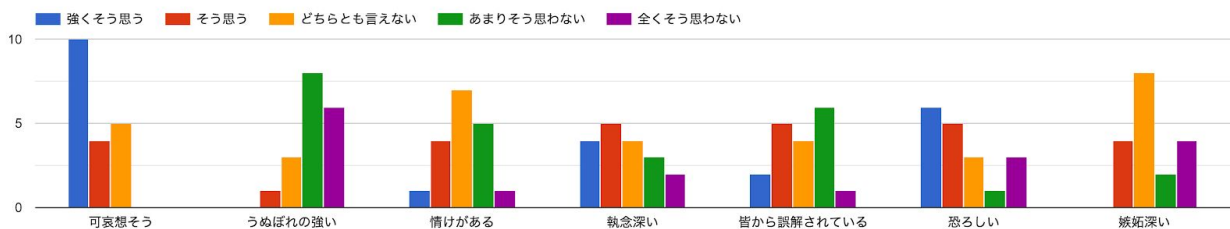
10. 口裂け女を知っている人にお尋ねします。口裂け女というのはど...ターだと思いますか？下の表の該当欄に印をつけてください。



「口裂け女というのはどのようなキャラクターだと思いますか？」という質問に対して、回答者の大多数が「怖い」また「執念深い」と思っている。それと対比して、過半数の日本人が「可哀想」だと答えた。

図5：お岩さんというのはどのようなキャラクターだと思いますか？

12. お岩さんを知っている人にお尋ねします。お岩さんというのはど...ターだと思いますか？下の表の該当欄に印をつけてください。



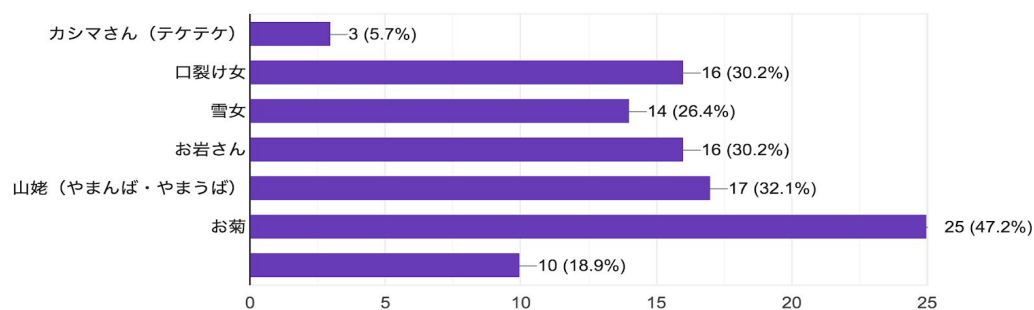
お岩さんのことに対して「恐ろしい」と答えた人は60%を超えたが、「可哀想」だと答えた人は70%を超えた。

図6：「以下の民話のキャラクターのうち、化け物や幽霊や妖怪ではなく実際の女性を扱う民話を選んでください」

9.

以下の民話のキャラクターのうち、化...性を扱う民話を全て選んでください。

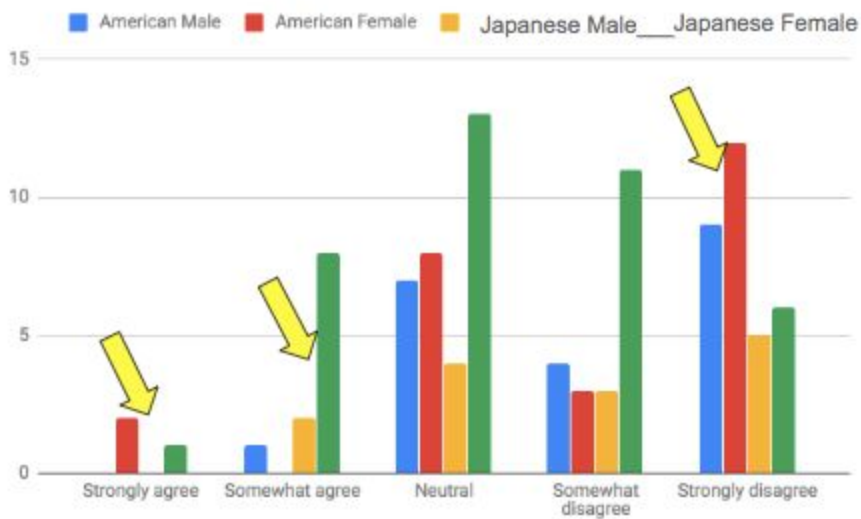
53 responses



「以下の民話のキャラクターのうち、化け物や幽霊や妖怪ではなく実際の女性を扱う民話を選んでください」という質問から集まった答えは、「お岩さん」のことを知っている回答者の約90%と「お菊さん」のことを知っている回答者全員（100%）が実際の女性を扱っていると答えた。「口裂け女」や「雪女」を知っている回答者の中で、実際の女性を扱っていると答えた人は35%以下であった。

図7：男性は女性より上の立場に立った方がいい場合が多くあると思いますか？

## In your opinion, are there situations in society where men should be positioned higher than women?

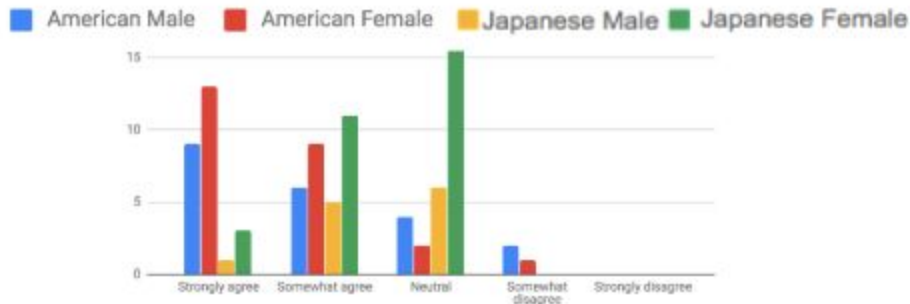


「男性は女性より上の立場に立った方がいい場合が多くあると思いますか」という質問に対して、賛成していない人と中立的な意見を持っている人が多かったである。

因みに、5人の日本人の女性は「男性に引っ張ってほしい」や「子供を産むと職場を離れなければいけない」と答えた。そして、何人かのアメリカ人の男女は「男性の方が身体能力が高い」場合があると答えた。

図8：（日本・アメリカ）には女性に対して偏見があると思いますか？

## Do you think there is prejudice towards women in (America/Japan)?



日米の大学生共に大多数が女性に対して偏見があると思っています。日本の女性は「どちらとも言えない」と答えた人が一番多かった一方で、アメリカの女性は「強くそう思う」と答えた人が一番多かったである。

#### 4.4. 研究結果1のまとめ

予想に反して、日本人の男性は日本人の女性より「男性の方が上の立場に立つた方がいい」とは思っていない。女性に対して偏見があるかについて日本人の意見は主に曖昧であった。その一方、アメリカ人は強く偏見があると思った。何人かの日本人の女性は性別の違いに基づいた立場の違いは偏見ではないと思っている。

Zwisslerによると、歴史的に少数派の集団と考えられる女性は「魔女」の歴史と「女性」の歴史には深い関係があると述べている。魔術に対する態度や考え方の変化と同様に女性に対する考え方も変わってきた。

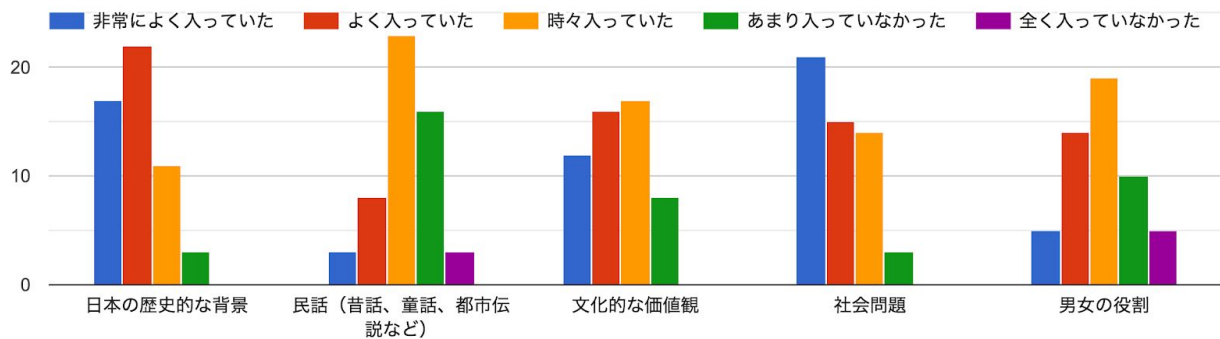
#### 4.5. 研究質問2に関するアンケート調査の結果

研究質問2：「民話を外国語の授業に取り入れることは日米の大学生が持つ社会問題や教育に関する意見にどのような影響があるか。」

図9：日本の教育の中で、日本文化の要素はどのくらい入っていたと思いますか。

17.

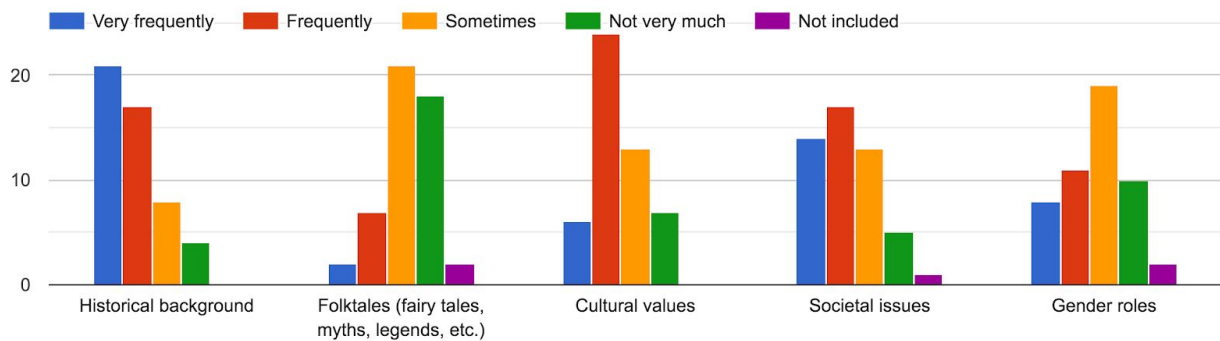
日本の教育の中で、下記の日本文化の要素は...か。下の表の該当欄に印をつけてください。



日本の教育の中に「民話」と言う自国の文化の要素は43%がある程度入っていたと答え、36%があまり又は全く入っていなかったと答えました。「民話」と「男女の役割」は他の要素に比べそれだけ入っていないということが分かりました。

図10：アメリカの教育の中で、西洋文化の要素はどのくらい入っていたと思いますか。

18. In your experience of American high school-level education how much were the following factors of Western culture included?

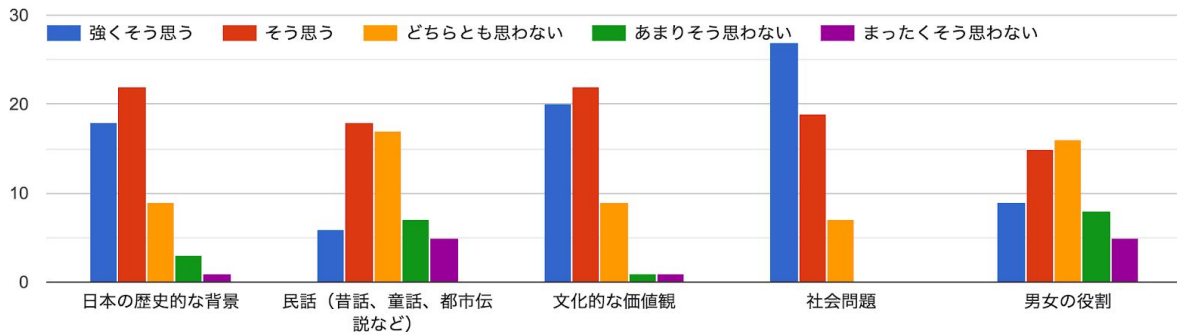


アメリカ人の回答者も自分の教育の中に「民話」がある程度入っていたと答え、「あまり」または「全く入っていなかった」と答えた比率は日本人とほぼ同じであった。

図11：日本の教育の中で、日本文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。

18.

日本の教育の中で、日本文化についてもっと...か。下の表の該当欄に印をつけてください。

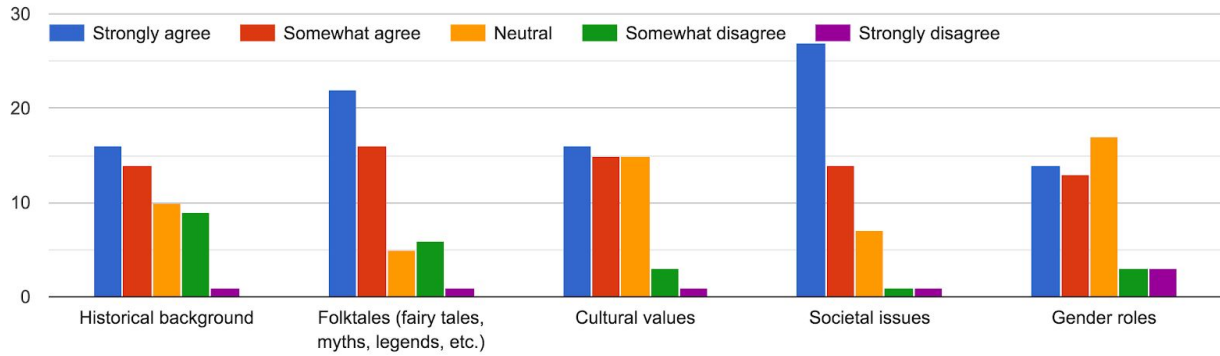


日本の教育の中で日本文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか、と聞いたところ、日本人の大学生は「社会問題」や「文化的な価値観」を挙げた。

図12：アメリカの教育の中で、西洋の文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。



19. Which of the following categories of Western culture would you have liked to have learned more about in your American high school-level education?

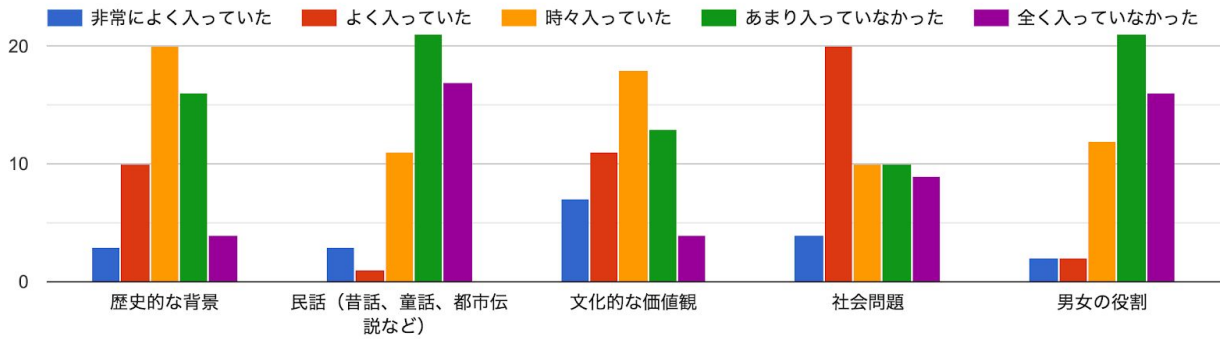


アメリカ人は日本人と比べると、より自国の文化の「民話」と「男女の役割」を勉強したかったと考えていることが分かった。

図13：高校の英語の授業にはどのくらい西洋文化の要素が入っていたと思いますか。

19.

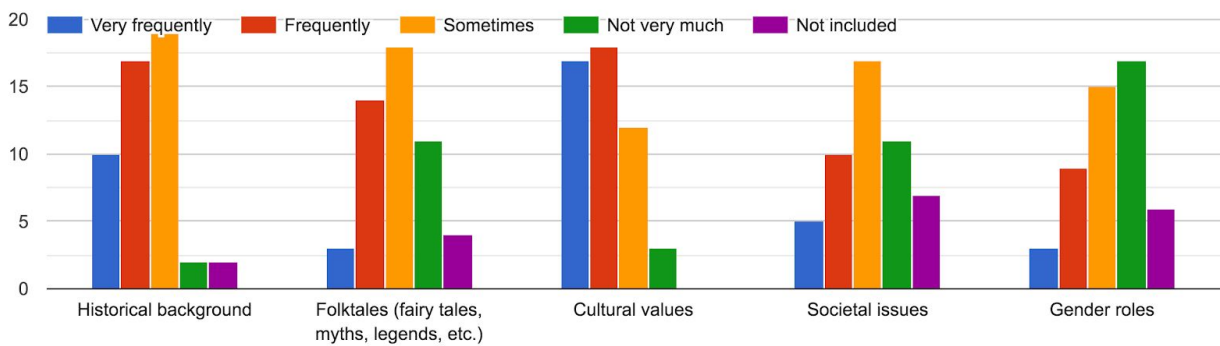
高校の英語の授業にはどのくらい西洋文化の...か。下の表の該当欄に印をつけてください。



高校の英語の授業にあまり入っていなかった要素が「民話」と「男女の役割」だと答えた。

図14: 高校の外国語の授業にはどのくらいその外国の文化の要素が入っていたと思いますか。

20. How frequently were the following categories included in your high school-level foreign language classes?

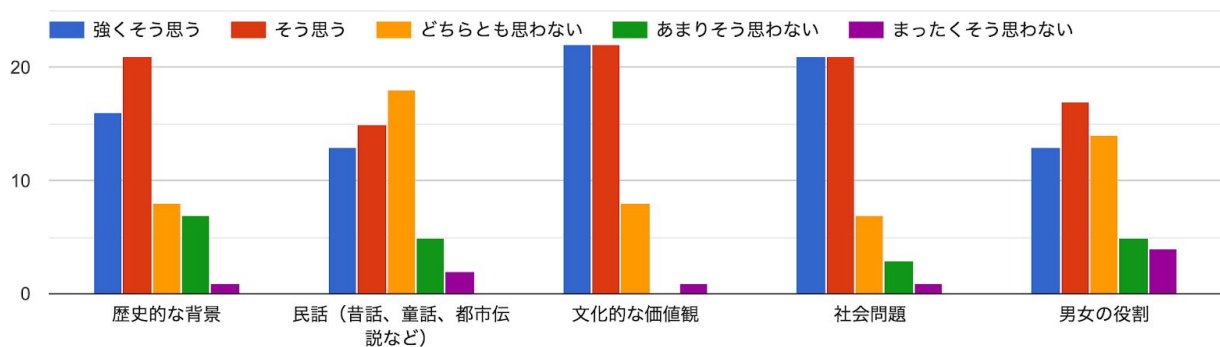


日本と同様に、アメリカ人の教育の要素の中で一番低かったのは「男女の役割」であった。

図15：高校の英語の授業の中で、西洋の文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。

20.

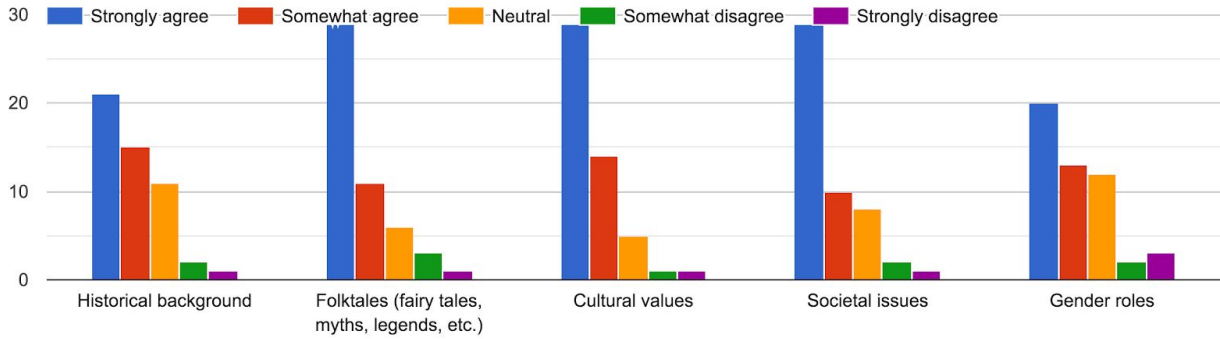
高校の英語の授業の中で、西洋の文化について...すか。下の表の該当欄に印をつけてください



高校の英語の授業の中で、もっと学べたら良かったと思う西洋の文化の項目はどれかという質問に対して、日本人の大多数は民話以外の全ての項目についてもっと勉強したかったと答えた。

図16：高校の外国語の授業の中で、その外国の文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。

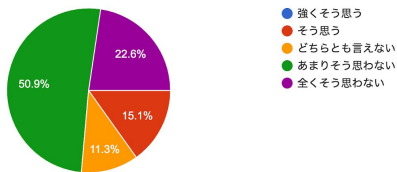
21. Which of the following categories would you have liked to have learned more about in your high school-level foreign language classes?



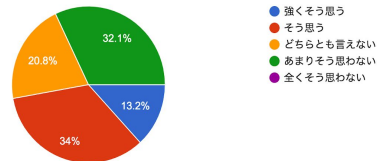
アメリカ人も全ての項目について外国語の授業でもっと勉強したかったと思っていることが分かった。

図17：（質問22）外国人は日本の民話をよく知っていると思いますか。（質問23）外国人が日本の民話を勉強したら、日本の文化の背景をもっとよく理解できると思いますか。

22. 外国人は日本の民話をよく知っていると思いますか。  
53 responses



23. 外国人が日本の民話を勉強したら、日...もっとよく理解できると思いますか。  
53 responses

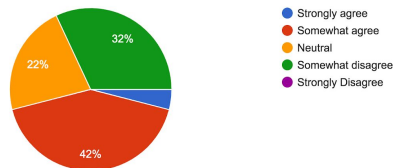


外国人が日本の民話を知らないと思っている日本人の回答者は約74%で、ほぼ半分の回答者は「外国人が日本の民話を勉強したら、日本の文化の背景をもっとよく理解できると思いますか」という質問に対して「強くそう思う」と「そう思う」と答えた。

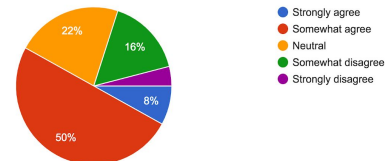
図18：（質問23）西洋ではない文化は西洋の民話をよく知っていると思いますか。

（質問24）西洋ではない文化の人が西洋の民話を勉強したら、西洋の文化の背景をもっとよく理解できると思いますか。

23. Do you feel non-Western cultures are familiar with American/Western folktales?  
50 responses



24. Do you think studying Western folktales would help a non-Western person to understand Western society and culture?  
50 responses



約半数のアメリカ人は、西洋人ではない人も西洋の民話を知っていると思う。そして、過半数のアメリカ人は西洋民話を勉強したら西洋文化をより理解できていることが分かった。

#### 4.6. 研究結果2のまとめ

日米の大学生と共に、自国の文化の「民話」、「男女の役割」について、ある程度勉強したと答えた。アメリカ人の大学生は「民話」と「男女の役割」は外国語の教育にある程度入っていたと答えた。その一方、日本人の大学生の英語の教育には「民話」と「男女の役割」があまり入っていなかったということが分かった。日本人の回答者に比べてアメリカ人の回答者は「民話」と「男女の役割」両方をもっと勉強したいと思った。「民話」、「男女の役割」と「社会問題」の関係は民話と社会的権力構造との関係に関与しているかもしれない。

### 5. 結論

民話の内容・背景は歴史的な影響を持ち、現在の社会問題とは関連が確実にあると言える。民話における女性に対する描写は当時の世の中がどのように見ていたかという事を反映していると考えられる。義務教育の中で、民話の背景について学習する機会があれば、民話の描写と現実との区別を付けられるようになる。従って、現代社会に存在する問題点に対する見方にも影響があると言えるかもしれません。日英大生はお互いに異文化の民話の背景をより知りたい。日本人大学生はアメリカ人大学生ほど自国の文化のことをそれだけ知りたくないようだ。

## 6. 研究の限界点と将来の研究課題

アンケートの対象は今大学に通っている学生に限られている。英語のアンケートに答えたアメリカ人は主にカリフォルニア出身である。日本語のアンケートの回答者は大多数が女性である。英日のアンケートを配った時から最後の回答をしてもらった時の間は一か月間以下である。研究の背景の深さは限られている。関連の研究を行いたいと思っている。新しい質問他のキャラクターを詳しく解析する。

## 7. 謝辞

最後に、ご指導くださった先生方と支えてくださった友達とアンケート調査に参加してくださった回答者に感謝いたします。

## 参考文献

The 3 instances of Maleficent. (n.d.). Retrieved February 18, 2019, from

<http://www.pitt.edu/~dash/type0410.html#basile>

American Folklore Society. *What is Folklore?* <https://www.afsnet.org/page/WhatIsFolklore?>

- Armstrong, K. (2006). *A short history of myth* (1st American ed). Edinburgh ; New York: Canongate.
- Cohen, B. (1995). The distaff side: representing the female in Homer's *Odyssey*. Retrieved from <http://public.eblib.com/choice/publicfullrecord.aspx?p=272884>
- Dix, Monika (2009). Saint or Serpent: Engendering the Female Body in Medieval Japanese Buddhist Narratives in Bryan S. Turner and Zheng Yangwen (Eds.) (pp. 43-58). New York: Berghahn Books.
- Dumas, Raechel (2018). *The Monstrous-Feminine in Contemporary Japanese Popular Culture*. Springer International Publishing AG.
- Forrester, S. E. S., Goscilo, H., Skoro, M., & Zipes, J. (Eds.). (2013). *Baba Yaga: the wild witch of the East in Russian fairy tales*. Jackson: University Press of Mississippi.
- Grimm. (n.d.). Hansel and Grethel. In Grimm's Fairy Tales. Retrieved from <https://www.cs.cmu.edu/~spok/grimtmp/012.txt>
- Ikeda, Shiro (2017). 『怪談』の中のハーン. 富山大学ヘルン（小泉八雲）研究会.
- Jordan, Brenda (2005). Yuurei: Tales of Female Ghosts in *Japanese Ghosts and Demons: Art of the Supernatural* (pp. 25-47). George Braziller.
- Karlsen, C. F. (1998). The devil in the shape of a woman: witchcraft in colonial New England. Retrieved from <https://www.overdrive.com/search?q=AA3944E8-6C16-4482-8CE2-6E31673E04D2>
- Kudoh, Miwako (2009). *Buddhism and Women in the Heian Era: Ganmon*. (pp.1-20).
- Makino, Yoko (2013). Between Folklore and Literature : Where does "Yuki-Onna" come from? Seijo University economic papers, 201, "118--92".

- Miwako, Kudoh (2010). *Buddhism and women in the Heian Era: Ganmon*. Bulletin of the Research Institute of Bukkyo University (17), 139-157
- Morii, Naoko (2008). *On Okamoto Kido's "Bancho Sarayashiki"*. Sophia University (1), 51-66.
- Nakao, Yuko (2005). Can Kuchisake Onna be categorized as a spirit? *Shi'en*, 66, "105--117"
- Oda, Jun'ichi (2006, April 3). *Minwa Kenkyuu no Aramashi*. Retrieved from <http://www.aa.tufs.ac.jp/~odaj/body/synt.html>
- Schreier, M. (2004). How Recipients View the Reality Status of the Blair Witch Project. *Poetics Today*, 25. Retrieved from <https://muse-jhu-edu.library2.csumb.edu:2248/article/169628/pdf>
- Takashima, Yoko (2014). Yamamba, Fairies and Witches in Folktales and Folk Lore. *Studies in the humanities*, 065, "115--135".
- Takemi, Momoko (1983). *"Menstruation Sutra" Belief In Japan*. Japanese Journal of Religious Studies. (pp. 229-246).
- Thompson, S. (1946). *The Folktale*. New York: The Dryden Press. Retrieved from [http://folkmasa.org/yashpeh/The\\_Folktale.pdf](http://folkmasa.org/yashpeh/The_Folktale.pdf)
- Van Hoy, J., Knudsen, L., Redmond, J., Bekerman, D., Teixeira, R., Eggers, R., ... Blaschke, J. (2015). *The witch*. Lionsgate.
- Saori Yabe (Producer), Shuntarô Kanai (Producer), Hirokazu Kokago (Producer), Takafumi Ôhashi (Producer), Kayako Hanamura (Producer), Nobumasa Miyazawa (Producer), Yoshimitsu Yoshitsuru (Producer) & Kôji Shiraishi (Director). (2007). *Carved: The Slit-Mouthed Woman*. Japan.
- Yanagita, Kunio; Miura, Sukeyuki (2013). *Japanese Folktales: Yanagita Kunio Collection*. Kadokawa Sofia Library. Kindle Edition. Kindle Locations "109-111".



Zwissler, L. (2018). In the Study of the Witch: Women, Shadows, and the Academic Study of Religions. *Religions*, 9(4), 105. <https://doi.org/10.3390/rel9040105>